



新しいクラスにも少しずつ慣れ、子どもたちは自分を少しずつ出しはじめてきた頃です。お互いの良さを認め合い、高め合いながら仲間というかけがえのない宝物を見つけてほしいものです。

今回はいじめゼロ月間ということで、改めていじめをこの世界からなくしていくために、ひとりひとりが考えていきましょう。

宇都宮市では、5月と10月を「いじめゼロ強調月間」としています。いじめについては、道徳、学年集会での指導や、あいさつ運動など日頃から学校生活のさまざまな場面で指導にあたっています。強化月間中は、以下のことに重点的に取り組みます。また、新型コロナウイルスに関しても、感染者、濃厚接触者とその家族、医療従事者や社会機能の維持にあたる方とその家族に対する偏見や差別につながるような行為は、断じて許されるものではありません。本校では、いじめはいつでも起こりうると捉え、早期発見、早期解消に努めています。

いじめゼロ啓発リボン

全生徒が黄色いリボンを胸につけ、いじめを「しない 負けない 許さない」意思を表示します。

いじめと生活に関するアンケート調査

いじめにあった、見たなどのいじめに関することや、基本的な生活習慣に関するアンケート調査を行い、生徒との相談・生徒指導の資料とします。

生活委員会によるいじめゼロミーティングの開催

委員会でいじめ根絶についての話し合いを行い、いじめのない学校を全生徒の意識のもとに築いていくことを目指します。

教育相談

アンケート調査をもとに、面談が必要な生徒や面談を希望する生徒と教育相談を行います。普段なかなか言えない悩みを相談するチャンスです。また、6月中旬より三者懇談が始まります。ご家庭で不安に感じていることなどがございましたら、遠慮なくご相談ください。

文部科学省からのメッセージ

裏面に文科省からの子どもSOS相談窓口について掲載させていただきました。子どもたちは悩んでいる時、誰かに話を聞いてもらうことで気持ちが楽になります。日頃からご家庭でもお話を聞いていただけていることと思いますが、あらためて子ども立ちと向き合い話し合う機会として頂ければ幸いです。